

水防災シンポジウム in 荒川～水災害に備える～【開催概要】

開催日時	平成29年7月18日(火) 14:00～16:30	プログラム (1) 挨拶 (2) 講演 【気象災害から身を守る】 (3) パネルディスカッション 【水災害から命を守るために】
開催場所	赤羽会館 講堂 (北区赤羽南1-13-1)	
参加者	491名	



(1) 挨拶



北区長
花川 與惣太 氏

- 被害を最小限に抑えるためにタイムラインを最大限活用するとともに、上流部での洪水調節池も積極的に検討すべき



前国土交通大臣
太田 昭宏 氏

- 荒川タイムラインをさらに検討するとともに、タイムラインを全国に広げるなど、気象状況の変化への対応をすすめるべき

(2) 講演



気象予報士・キャスター 井田 寛子 氏

- 近年頻発している気象災害の状況やそこから身を守るための情報や取組について講演
- 自然災害から身を守る3つの「K」を紹介
 - ① Kangaeru 考える : 被害をイメージする
 - ② Kizuku 気づく : 周りの様子に注意する
 - ③ Koudou-suru 行動する : 早めに避難する

(3) パネルディスカッション



コーディネーター: 松尾 一郎氏
(環境防災総合政策研究機構 副所長)
パネリスト: 峯崎 優二氏 (北区危機管理室長)
久保田 義幸氏 (板橋区危機管理室長)
川口 弘氏 (足立区危機管理部長)
今坂 昭男氏 (足立区長門南部町会長)
中須賀 淳氏 (荒川下流河川事務所長)

ステージ1「自己紹介、それぞれの役割、地域の特徴」

- 北区峯崎氏、板橋区久保田氏、足立区川口氏より、荒川下流タイムラインの検討に先行して取り組んできた3区として各区の特徴等について紹介
- 足立区長門南部町会今坂氏より、住民代表として長門南部町会について紹介

ステージ2「近年の水害の特徴、荒川はん濫による被害を知る」

- 荒川下流河川事務所中須賀氏より、近年の水害や荒川が氾濫したときのリスク等について解説

ステージ3「様々な対策や取組を理解する」

- 北区峯崎氏より、ハード・ソフトの両面からの対策が必要との意見。また、北区のハザードマップ、防災訓練、防災アプリを紹介
- 足立区川口氏より、ハード対策として京成本線荒川橋梁の早急な架け替え、荒川調節池群の整備を求めるとの意見
- 板橋区久保田氏より、荒川氾濫のリスクを踏まえた要配慮者対応が重要課題であるとの意見

ステージ4「荒川下流水害タイムラインで命を守る」

- 荒川下流河川事務所中須賀氏より「荒川下流タイムライン(拡大試行版)」について説明
- 北区峯崎氏よりチェックリストとして連携強化に繋がっている、板橋区久保田氏よりレディーゴーリストとTLを併せて活用し板橋区独自のTLをつくっていききたい、などの意見
- 足立区長門南部町会今坂氏より、地域での取組としてコミュニティ・タイムライン策定やリーダーの決断力・即断力、住民への周知が今後の課題であるとの意見

ステージ5「まとめ」

- コーディネーター松尾氏より「水災害に備えるには」、「地域でTLを活かすには」の2つのテーマについて問いかけがあり、パネリストごとに回答。
- コーディネーター松尾氏より、地域ごとのタイムラインやマイ・タイムラインを始めとし、堤防決壊に先行して発生する土砂災害や中小河川洪水も含めたタイムラインなどを今後進めるとともに、水災害を対岸の火事と思わずに、明日は我が身と感じて備えて対応していく必要がある、とのまとめ